

2024 年 11 月 15 日
株式会社 鹿児島銀行

「かぎんSDGs推進医療機関債」の引き受けおよび贈呈式の開催について（社会医療法人令和会様向け）

鹿児島銀行（頭取 郡山明久）は、社会医療法人令和会様が発行する「かぎんSDGs推進医療機関債（愛称：メディどん）」を引き受け、贈呈式を開催いたしましたので下記のとおりお知らせします。

当行は、「かぎんSDGs推進医療機関債」を通じてお客さまとともに地域課題の解決を図り、地域発展および持続可能な地域の社会づくりに貢献してまいります。

記

1. 概要

発行会社	社会医療法人令和会
所在地	熊本県熊本市中央区新屋敷 1 丁目 17-1
理事長	坂口 満
事業内容	病院、介護老人保健施設、クリニックなどの運営
企業動向	・熊本整形外科病院（熊本市中央区）および熊本リハビリテーション病院（菊池郡菊陽町）、介護老人保健施設サンライズヒル（菊池郡菊陽町）、南郷谷リハビリテーションクリニック（阿蘇郡高森町）など複数の医療・介護施設を運営。 ・熊本リハビリテーション病院は、1974 年に熊本理学診療科病院として設立され、1986 年には熊本リハビリテーション病院に名称を変更。今年で創立 50 年を迎える。 ・地域のリハビリテーション医療のニーズに応えるべく、急性期～回復期～生活期のリハビリテーションの機能を有し、さまざまな疾患に伴う機能障害に対し、総合的なリハビリテーションを提供する。 ・同院では「ハイブリッド・リハビリテーション」と銘打ち、さまざまな最新技術や機器を積極的に導入し、治療効果を高めている。また救急医療体制（二次救急）や整形外科、形成外科、血管外科を中心に年間 1,000 例を超える手術を行う。さらに、糖尿病や関節症、重症虚血肢、低栄養といった昨今の高齢者医療を取り巻く疾患・症状に対して診療科や治療体制の充実も図る。 ・2014 年には下肢救済センター、2017 年からは脂肪組織由来再生幹細胞を用いた再生医療の提供を開始し、2020 年には生活リハセンター、サルコペニア・低栄養研究センターの開設と、より患者のニーズに沿えるよう医療サービスの向上に取り組む。

	・同院のある菊陽町は近隣の環境変化も著しく、地域のニーズに応えるべく 2022 年 11 月に MRI センターを竣工し、翌年 6 月には新たに MRI を本格稼働するとともに透析装置 2 台を導入した。 ・今後も地域と共に歩み、患者が安心して生き生きとした暮らしに戻られるよう、誠実に着実な努力を積み重ねていく。
発 行 日	2023 年 1 月 13 日（金）
発 行 額	1 億円（引受額 1 億円）
期 間	5 年（満期期日一括償還方式）
資 金 使 途	病院増改築資金
寄付実施日	2024 年 5 月 31 日（金）
贈 呈 先	菊陽町役場
贈 呈 品	ボッチャセット
贈 呈 目 的	地域住民への社会貢献

2. 贈呈式開催

開 催 日	2024 年 10 月 23 日（水）				
場 所	菊陽町役場防災センター				
出 席 者	社会医療法人令和会	熊本リハビリテーション病院	院長	桑原 公倫	様
		熊本リハビリテーション病院	事務長	城ヶ野 晃久	様
	菊陽町役場		町長	吉本 孝寿	様
			健康福祉部長	梅原 浩司	様
			介護保険課長	和田 征	様
			介護予防係長	平井 亜佑美	様
			介護予防係主事	田島 壘	様
	株式会社鹿児島銀行	熊本支店	支店長	帖佐 慎市	
			支店長代理	有島 尚弘	

贈呈式の様子



3. 対応するSDGs



目標 3. スポーツを通じて地域住民の健康増進

目標 17. すべての人が垣根を越えて一緒に楽しみ、競い合える機会の提供

【参考】

- ・「かぎんSDGs推進医療機関債」は、発行額の一定割合を原資として「医療機関債発行法人」が指定する学校・団体さまに当行が「寄付（金銭を贈呈する）」・「寄贈（物品を贈呈する）」を行うものです。お客さまの「想い」を当行の金融プラットフォームを通じて地域に届け、各種課題解決を図る取り組みとなります。
- ・「医療機関債」とは、2004年10月に厚生労働省より示された「医療機関債発行のガイドライン」に基づき、その基準を満たした財務内容の良好な医療法人が資産の取得を目的として発行する債券のことです。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

鹿児島銀行 医業支援部

TEL：099-239-9754（ダイヤルイン）